

令和3年度(第27期) にいがた市民大学「皆で感染症を考えよう」公開講座

「肺炎や結核の診療の実際」 実施概要

【会場】 新潟市民プラザ（新潟市中央区西堀通 6-866 NEXT21 6階）

【日時】 令和3年6月5日（土） 午前10時～正午

【講師】 菊地 利明 さん
（新潟大学医学部 呼吸器・感染症内科 教授）

【参加者】

計 41 名

（内訳）

- ・講座受講者 33名（うち自宅受講者7名）
- ・一般参加者 8名



【内容】

肺炎と結核の症状や診断の違いについてお話しいただきました。

肺炎は高齢者に多い疾患で、原因菌として最も多い肺炎球菌に対してはワクチンがあるそうです。肺炎の治療は、原因菌を推定してから開始されるそうです。

結核は、発病すると症状は週～月単位で進行し、周囲への感染は咳によって広がります。

講座中には、レントゲン写真等を用いながら、分かりやすくご説明頂きました。

受講者の方は真剣にお話を聞いておりました。

